科目（講座名）	数学Ⅰ（数学Ⅰ演習）		２単位	必修選択
教科書	改訂版　高等学校　数学Ⅰ（数研出版）		担当教諭	
副教材	シニア　数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B			

学習の目標

数学Ⅰ及び数学 A の全分野について、基礎的な知識の確認と技能の習熟を図り、入試問題に対応した学力の習得を目指す。

授業内容

（１）数と式	（ア）式と計算	（イ）実数
	（ウ）１次不等式	（エ）集合と命題
（２）２次関数	（ア）２次関数とグラフ	（イ）２次関数の値の変化
	（ウ）２次方程式と２次不等式	
（３）図形と計量	（ア）三角比	（イ）三角形への応用
（４）データの分析		

学習方法

前半は、教科書・副教材で復習・演習を行い、学習した事項を確認するとともに知識の定着をはかる。後半は、過去の入試問題の演習を中心に行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して，数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。
表現・処理	数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析において，事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決する。
知識・理解	数と式、２次関数、図形と計量およびデータの分析における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。

評価方法

１．年４回の定期考査
２．毎時間の課題提出と小テスト
３．出席状況、学習態度などを　年間を通して総合的に判断し、評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の 留意点
1	4 5 6	２６	第１章 数と式 第２章 2次関数 第３章 図形と方程式 第４章 データの分析	第１節　式の計算 第２節　実数 第３節　１次不等式 第４節　集合と命題 第１節　２次関数とグラフ 第２節　2次関数の値の変化 第３節　2次方程と2次不等式 第１節　三角比 第２節　三角比への応用 1.ﾃﾞｰﾀの整理 2.ﾃﾞｰﾀの代表値 3.ﾃﾞｰﾀの散らばりと四分位数 4.分散と標準偏差 5.ﾃﾞｰﾀの相関 6.表ｿﾌﾄによるﾃﾞｰﾀの分析	基本事項を丁寧に確認する。 網羅的でなく、取り上げた問題を細部まで理解に努めさせる。 小テストを通じて定着をさせる。 定期考査で授業で扱った問題を出題して達成感を持たせる。
2	9 10 11 12	２６	入試問題テーマ別演習 入試問題総合演習	全範囲 １回～５回	実際の入試問題を教材とする。 難易度を上げず１学期の学習内容が生かせる問題を精選する。 徐々に難易度を上げて実際の入試に対応できる力を養う。
3	1 2 3	１８	個別指導	志望校過去入試問題	今までに学習してきた内容を踏まえて、問題演習を行う。